

第31回NPO法人新宿オペラ公演
G.ヴェルディ作曲 《ドン・カルロ》

4幕・原語上演／日本語字幕付き

指揮：米津俊広／演出：園江治

22日出演者

上本訓久

飯塚 学

西本真子

飯島由利江

高橋初花

佐藤允彦(両日)

小山健太郎(両日)

田中拓風

大澤恒夫

佐藤泰弘

大中郁代

23日出演者

芹澤佳通

村田孝高

島村侑子

窪 瑤子

佐藤雅子

五島泰次郎

杉尾真吾

普久原武学

玉田弓絵

演奏：新宿オペラ管弦楽団／合唱：新宿オペラ合唱団

2025年 11月 22日(土) 開場：12:30 / 開演：13:00

11月 23日(日) 開場：12:30 / 開演：13:00

新宿文化センター・大ホール

全自由席 前売り¥6000・当日¥6500

前売り：03-3952-7894 (NPO法人新宿オペラ)

mail:sonoe@shinjuku-opera.com

チケットぴあPコード295688

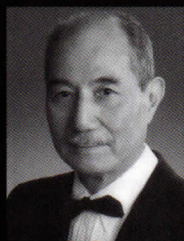
Don Carlo



第31回NPO法人新宿オペラ公演
G.ヴェルディ作曲《ドン・カルロ》



指揮 米津 俊広



演出 園江 治

「あらすじ」

スペイン王カルロス一世は退位前にフランスと結んだ平和条約で、王の孫ドン・カルロス王子とフランスのアンリ二世の娘エリザベットの縁談を取り決める。ところが次の王フェリーペ二世が、妃を失ったのち、息子の許嫁を奪って自分の妃に迎える。一方、フランドル独立運動の最中、カルロの親友ロドリゴは、エリザベッタへの想いを断ち切れぬカルロを見兼ね、王にカルロをフランドル執政にと懇願するが、王は王子と王妃の関係を調査するようにロドリゴに命ずる。

王子を愛するエボリ公女は嫉妬から王妃を陥れる決心をする。異教徒火刑場でカルロは王に新教徒解放を直訴するが反逆者として捕らわれてしまう。王妃に愛されず、王子の処遇にも悩む王は大審問官に相談する。エボリ公女の策略で王妃はカルロとの仲を疑われる。ロドリゴは捕らわれの身となったカルロを救い出そうとするが、異端審問官が放った暗殺者に殺されてしまう。騒ぎの際にエボリ公女がカルロを牢から逃がす。エリザベッタとカルロが今生の別れを決意し、カルロは旅立つことに、そこへフィリッポと大審問官が現れ、カルロを捕えようとする。しかし先帝カルロ五世の亡霊が出現、それをささげる。

演奏：新宿オペラ管弦楽団

合唱：新宿オペラ合唱団

＜音楽スタッフ＞

副指揮：松下和弘・金子快聖・柴田慎平・石川裕也

練習ピアニスト：岩崎能子・松井理恵

河野真有美・岩淵 静

＜舞台スタッフ＞

美術：淡路公美子

道具：悠久堂企画室

照明：関 嘉明

衣裳：五十嵐和代

ヘアメイク：エイミー前田

字幕：升水弘之

広告宣伝：バ ク

舞台監督：八木清市

協力：宮本風香

後援：(株)新宿区新聞社

主催：NPO 法人新宿オペラ

—— 22 日出演者 ——



ドン・カルロ 上本 訓久



ロドリゴ 飯塚 学



エリザベッタ 西本 真子



エボリ公女 飯島由利江



デバルド 高橋 初花



修道士 田中 拓風



フィリッポ 大澤 恒夫



大審問官 佐藤 泰弘



天の声 大中 郁代



レルマ伯爵 佐藤 允彦

—— 23 日出演者 ——



ドン・カルロ 芹澤 佳通



ロドリゴ 村田 孝高



エリザベッタ 島村 侑子



エボリ公女 窪 瑠子



デバルド 佐藤 雅子



修道士 五島泰次郎



フィリッポ 杉尾 真吾



大審問官 普久原武学

—— 両日出演者 ——



レルマ伯爵 佐藤 允彦



アラルト 小山健太郎



天の声 玉田 弓絵

新宿文化センター

東京都新宿区新宿6-14-1 Tel.03-3350-1141

JR新宿駅東口より徒歩14分

東新宿駅A1出口より徒歩5分

新宿三丁目駅E1出口より徒歩5分

